

平成 29 年度学校評価及び平成 30 年度重点課題

1. めざす学校像

【教育方針】 個々の能力を充分に伸長させるとともに、品性の高い教養ある人間を育成する。
思いやりのある豊かな心、真理を追究する真摯な心、自己を厳しく律する克己の心を育て、文化国家の担い手にふさわしい人材を育成する。

【教育目標】 豊かな知性、正しい判断力、理解力を養うことを教育の根本とし、将来の目標を達成するために、恵まれた環境を活用してきめ細かい指導を行う。
基本的な生活習慣を身につけるための躾については充分留意、厳しく指導し、あくまでも清楚にして質実健全な校風の高揚につとめる。
普通科総合選択制・進路別指導により、本人の能力を充分に發揮できる教育を目指す。

2. 中期的目標

1. 普通科総合選択制の更なる充実

- (1) 満足度調査（生徒向けアンケート）の実施
- (2) 基礎学力の底上げと選択科目の充実、生徒各々に見合った授業展開
- (3) 学習習慣の形成
- (4) 進路別指導 7 限目授業（サテライト講座等）の充実

2. 生徒の規範意識を高め、基本的生活習慣の確立、服装、頭髪、マナーの向上

- (1) 遅刻指導の徹底
- (2) 定期的な頭髪服装検査の実施
- (3) 登下校中のマナーを意識させる。

3. 生徒自身の自主活動を充実させ、自律の精神を養う

- (1) 体育祭、文化祭等の学校行事等の充実
- (2) 部活動の活性化

【普通科総合選択制アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

普通科総合選択制アンケートの結果と分析[平成 30 年 3 月実施分]	学校評価委員会からの意見
<p>①「進路」・②「興味関心」・⑤「シラバス」を基準として授業を選択した生徒は「満足度」が高い傾向がみられる。⑤「シラバス」を基準とした生徒の多くは、①②も基準としており、自分の「進路」・「興味関心」に合った授業をシラバスをよく読んだ上で選択できた結果ではないかと考えられる。それに対して、③「エリア」・④「難易度」・⑤「楽したい」を基準として選択した生徒は「満足度」が低い傾向となった。③「エリア」を基準とした生徒のほとんどは①「進路」を基準とはしておらず、進路とエリアが結びついていないことが考えられる。特にアスリートエリアの生徒も多く、担任・クラブ顧問がエリアでだけではなく、進路にも結び付いた選択ができるように指導していく必要があるように思われる。また、④「難易度」・⑨「楽したい」を基準とした生徒については、前向きな意識が低いことが原因であると考えられる。</p>	<p>*高等学校の教育の質の向上に向けて、継続的に取り組んでいることは大いに評価できます。また、箕面学園の教育理念をもち、教育目標を実現し、教職員が一丸となって目標、課題に沿って一生懸命努力し、取り組んでいる姿勢に対して評価できます。</p> <p>*教職員の“普通科総合選択”の理解をより一層深め、生徒の進路決定に効果的な指導を行う為、定期的に研修会や報告会などを設ける必要があると考えます。</p> <p>*3 年次に進路を考え出している生徒の割合が多い現状であり、より早く生徒自身が目標を設定できるよう、1 年次の体験授業を始め進路指導の見直しが必要を感じます。</p> <p>*アンケート調査の結果を踏まえ、「短期的目標」・「中期的目標」を設定し、実施していく必要があると考えます。</p>

<p>[分析] 全体としては、「進路」をより意識した基礎教養の満足度が高く、「進路」について早い時期から前向きに意識している生徒の満足度が高くなり「進路」への意識が満足度に大きく影響する傾向が見られた。一方、授業選択の際に、一部の生徒が「進路」と「エリア」を結びつけて考えられていないことも見えてきた。今後は1・2年次にどれだけ生徒個々に「進路」を意識付けができるかということと生徒それぞれが「進路」にもとづいて自分のための選択を自分自身でできるかということを念願に進路指導・エリアや授業選択の指導をおこなっていく必要がある。そのためにも、生徒個々の様子を見極め、教員側が普通科総合選択制についての理解をより深めていくことがさらに求められているように思われる。</p>	
<p>遅刻数頭髪指導者集計・学校行事アンケートから結果と分析</p>	<p>学校評価委員会からの意見</p>
<p>遅刻指導・身だしなみ等、各学年・生徒指導部中心に検査を実施してきた。 4、5年前と比べると、遅刻数も大幅に減少し、頭髪検査で指導も受ける割合も少なくなってきた。ポイント指導と本校独自のものも取り入れ一定の結果も出てきた。 学校行事の生徒満足度も、十分なものだと考えられる。 クラブ活動活性化では、近年厳しい状況が続いている。</p> <p>[分析] 数年前の遅刻数割合から見ると大幅に減少しているが、近年停滞傾向である。 ポイント指導等、様々な指導に生徒が慣れてしまっていると考えられる。 学校行事は、満足して参加する生徒が年々増えてきている現状ではあるが、マンネリ化を防ぐため、毎年見直しが必要である。</p>	<p>*数年前と比べると遅刻数や頭髪検査等で指導を受ける生徒が年々減少し、学校、教職員の指導の成果だと評価できます。 指導の慣例化も統一を持たず意味では大事だが、慣れには十分注意していただき、この時代の子ども達に合わせた指導を、その都度見直していく柔軟さが必要だと考えます。</p> <p>*学校行事での充実度は満足できるものだと感じます。学校行事は自分自身で作り上げていくものということ、より充実した内容の行事や新たな行事を考えるなど年々より良い行事を作り上げてください。</p> <p>*クラブ活動加入率が50%を下回る状態が、長年続いているのは大きな問題であります。クラブ責任者のみならず、学園全体での重要課題の一つとして考える必要があります。オープンキャンパス、HP、広告での学校案内、クラブ紹介の方法、手段を見直す必要もあります。</p> <p>*生徒を「親切に、丁寧に、大事に」の考え方をもつと浸透して行って欲しい。</p>

3. 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
普通科総合選択制の更なる充実	(1) 基礎学力の向上 (2) 学習習慣の形成 (3) 進路別指導の充実	①生徒による普通科総合選択制についてのアンケートを実施し、教員の授業改善等の参考資料とする ②毎朝、ホームルーム10分間で学年ごとに朝学習（英・国・数）の課題を取り組む。 ③7限目授業 各々の進路に応じた授業（サテライト講座、ピアノ講座、小論文講座、公務員対策講座等）の実施	①アンケートで普通科総合選択制の理解度や、生徒各々が希望する進路に応じた授業選択または教員が生徒の能力の沿った授業を行っているか肯定率で評価し、全ての項目で60%以上 ②朝学習を取り組むことで、1限目の授業にスムーズに入れるなどの学習習慣の形成 ③7限目授業、各講座の学期末、学年末に習熟度合を測るテストを実施し、得点により評価	①・全体の満足度平均 62.8% ・専科の満足度平均 61.8% ・基礎教養の満足度平均 63.8% ・2年次の選択授業 満足度平均 61.1% ・3年次の選択授業 満足度平均 64.3% 全ての項目で目標数値60%以上を達成した。 ②数値化することは困難ではあるが、年々遅刻者も減少し、少しづつ習慣付けが出来ているように感じる。 ③学年末の習熟度テストで、6割以上の正解率より習熟度を上げる必要がある。

2 生徒の規範意識を高め、基本的生活習慣の確立、服装、頭髪、マナーの向上	(1) 遅刻指導の徹底 (2) 身だしなみの徹底 (3) マナーの向上	①毎朝、下校時に阪急箕面駅から学校までの通学路に教員が立ち、登下校の指導を行う ②学期はじめ、定期考査中に頭髪服装検査を生徒指導担当、専従により行い、改善要する生徒には、学年で徹底指導を行う ③毎朝、教員が通学路に立ち、あいさつ運動を行い、定期的に生徒会活動として併せてあいさつ運動を行っている	①今年度の一日当たりの遅刻数を過去3年分の数と比較し、算出する ②頭髪服装検査で頭髪指導数を過去3年分と比較し、又は年度平均数25%以下を目指す ③教員、生徒会だけではなく、一般生徒も巻き込んであいさつ運動が出来るように取り組む	① 1日当たりの平均遅刻者数 平成27年度 26.0人 平成28年度 30.6人 平成29年度 26.5人 平成29年度は昨年度より微減ながら1日当たりの遅刻数が減少しているしかし、過去3年間で微増、微減を繰り返している現状であるため、単期的目標では一日当たり20人を切れる様指導を徹底する。 ② (平成27年度) 21% (平成28年度) 20% (平成29年度) 22% 結果、昨年度に比べ、割合としては増えてしまっている現状であるが、25%以下で目標達成ではある。しかし長期的目標として10~15%以下に設定し、より指導に磨きをかける必要がある ③数値化することは困難だが、継続して行う。
3 生徒自身の自主活動を充実させ、自律の精神を養う	(1) 学校行事の活性化 (2) 部活動活性化、加入率アップ	①体育祭、文化祭など、生徒一人ひとりに魅力を感じさせる取組みを行う 他校で行われているプログラムなどを参考にし、クラス単位、学年単位で“自分たちで作り上げる体育祭、文化祭”という意識づけを行う ②オープンキャンパスや新入生向けのクラブ紹介等をより充実させ、学校HP等を利用し、各部のアピールを行う	①文化祭、体育祭は生徒向けアンケートを毎年実施しており、それぞれ肯定感80%以上を目標にあげる ②クラブ加入率50%を目指す。	① 文化祭… 平成29年度肯定感90%以上で目標達成である。 体育祭… 平成29年度肯定感85%以上で目標達成 その中でも否定感の声もあるのが現状。毎年毎年体育祭・文化祭ともに内容の見直しが必要である。 ② 平成27年度 41% 平成28年度 46% 平成29年度 43% 過去3年間で目標50%以上には達成していない。平成29年度は前年と比べ減少しており、ほとんどのクラブが微減している現状である。全体数の違い(平成28年度587名・平成29年度502名)もあるが、途中退部者や生徒募集(クラブ生)の見直し等急務である。

4. 普通科総合選択制アンケートについて

第3学年生徒から学年末にアンケートをとり、普通科総合選択制についての現状を調査した。

ここでは、専科・基礎教養の授業評価について以下のように点数化し、「満足度」を計算した。

【方法】 ①たいへん効果があった = 100点 ②それなりに効果があった = 60点
③あまり効果がなかった = 30点 ④効果がなかった = 0点

【それぞれの平均点】

全体の「満足度」	62.8点
専科の「満足度」	61.8点
基礎教養の「満足度」	63.8点
2年次の選択授業の「満足度」	61.1点
3年次の選択授業の「満足度」	64.3点

《体験実習講座》

1年次の体験実習講座について、自分の進路選択に効果がありましたか？

①たいへん効果があった	②それなりに効果があった	③あまり効果がなかった	④効果がなかった	⑤あまり覚えていない
18%	41%	17%	8%	16%

《資格検定講座》

意欲的に取り組めましたか？

①たいへん意欲的に取り組んだ	②それなりに取り組んだ	③あまり意欲的に取り組めなかった	④取り組まなかった
21%	37%	31%	11%

《選択科目》

選択科目の選択について、あなたが選択する際に基準となったものはどれですか？（複数回答のため、人数表示）

自分の進路に必要な学習内容	自分が興味・関心がある学習内容	エリア	難易度が自分に合っている	シラバスを読んで	定期考査の有無	友人と同じ授業を取りたい	先生に勧められた	なるべく楽をしたい
81人	66人	15人	22人	11人	5人	18人	25人	22人

「選択の基準」にみられる「満足度」

	専科	基礎教養	2年次	3年次	全体
①進路	70.8%	70.8%	68.3%	72.6%	70.8%
②興味・関心	69.5%	69.6%	67.1%	71.4%	69.6%
③エリア	59.0%	55.8%	55.8%	58.9%	57.2%
④難易度	56.7%	58.6%	56.7%	58.6%	57.8%
⑤シラバス	68.9%	71.4%	65.6%	74.0%	70.4%
⑥考査の有無	54.7%	70.0%	56.0%	69.0%	63.4%
⑦友人と同じ	65.5%	69.9%	66.5%	69.3%	68.1%
⑧先生の勧め	57.0%	64.1%	59.5%	62.3%	61.1%
⑨楽しみたい	57.0%	56.2%	55.0%	57.7%	56.5%

《専科・基礎教養》

【専科Ⅰ】について

A 自分の進路選択や進路のための学習に有効でしたか？

①たいへん効果があった	②それなりに効果があった	③あまり効果がなかった	④効果がなかった
35%	32%	18%	15%

B 自分が興味・関心がもてる学習内容でしたか？

①たいへん興味・関心がもてた	②それなりに興味・関心がもてた	③あまり興味・関心がもてなかつた	④興味・関心がもてなかつた
38%	32%	17%	13%

C 授業の難易度は自分に合っていましたか？

①ちょうど合っていた	②それなりに合っていた	③あまり合っていなかつた	④合っていなかつた
40%	38%	13%	9%

【基礎教養Ⅰ】について

A 自分の進路選択や進路のための学習に有効でしたか？

①たいへん効果があった	②それなりに効果があった	③あまり効果がなかった	④効果がなかった
31%	35%	18%	16%

B 自分が興味・関心がもてる学習内容でしたか？

①たいへん興味・関心がもてた	②それなりに興味・関心がもてた	③あまり興味・関心がもてなかつた	④興味・関心がもてなかつた
36%	34%	17%	13%

C 授業の難易度は自分に合っていましたか？

①ちょうど合っていた	②それなりに合っていた	③あまり合っていなかつた	④合っていなかつた
37%	38%	15%	10%

【基礎教養Ⅱ】について

A 自分の進路選択や進路のための学習に有効でしたか？

①たいへん効果があった	②それなりに効果があった	③あまり効果がなかった	④効果がなかった
32%	36%	15%	17%

B 自分が興味・関心がもてる学習内容でしたか？

①たいへん興味・関心がもてた	②それなりに興味・関心がもてた	③あまり興味・関心がもてなかつた	④興味・関心がもてなかつた
32%	38%	14%	16%

C 授業の難易度は自分に合っていましたか？

①ちょうど合っていた	②それなりに合っていた	③あまり合っていなかつた	④合っていなかつた
34%	38%	15%	13%

【専科Ⅱ】について

A 自分の進路選択や進路のための学習に有効でしたか？

①たいへん効果があった	②それなりに効果があった	③あまり効果がなかった	④効果がなかった
35%	30%	20%	15%

B 自分が興味・関心がもてる学習内容でしたか？

①たいへん興味・関心がもてた	②それなりに興味・関心がもてた	③あまり興味・関心がもてなかつた	④興味・関心がもてなかつた
39%	27%	21%	13%

C 授業の難易度は自分に合っていましたか？

①ちょうど合っていた	②それなりに合っていた	③あまり合っていなかつた	④合っていなかつた
39%	33%	18%	10%

【専科Ⅲ】について

A 自分の進路選択や進路のための学習に有効でしたか？

①たいへん効果があった	②それなりに効果があった	③あまり効果がなかった	④効果がなかった
41%	28%	13%	18%

B 自分が興味・関心がもてる学習内容でしたか？

①たいへん興味・関心がもてた	②それなりに興味・関心がもてた	③あまり興味・関心がもてなかつた	④興味・関心がもてなかつた
37%	30%	16%	17%

C 授業の難易度は自分に合っていましたか？

①ちょうど合っていた	②それなりに合っていた	③あまり合っていなかつた	④合っていなかつた
40%	27%	19%	14%

【基礎教養Ⅲ】について

A 自分の進路選択や進路のための学習に有効でしたか？

①たいへん効果があった	②それなりに効果があった	③あまり効果がなかった	④効果がなかった
41%	38%	11%	10%

B 自分が興味・関心がもてる学習内容でしたか？

①たいへん興味・関心がもてた	②それなりに興味・関心がもてた	③あまり興味・関心がもてなかつた	④興味・関心がもてなかつた
28%	48%	19%	5%

C 授業の難易度は自分に合っていましたか？

①ちょうど合っていた	②それなりに合っていた	③あまり合っていなかつた	④合っていなかつた
40%	44%	10%	6%

【基礎教養IV】について

A 自分の進路選択や進路のための学習に有効でしたか？

①たいへん効果があった	②それなりに効果があった	③あまり効果がなかった	④効果がなかった
4 5 %	2 9 %	1 3 %	1 3 %

B 自分が興味・関心がもてる学習内容でしたか？

①たいへん興味・関心がもてた	②それなりに興味・関心がもてた	③あまり興味・関心がもてなかつた	④興味・関心がもてなかつた
4 5 %	2 9 %	1 7 %	9 %

C 授業の難易度は自分に合っていましたか？

①ちょうど合っていた	②それなりに合っていた	③あまり合っていなかつた	④合っていなかつた
4 5 %	3 3 %	1 1 %	1 1 %

専科・基礎教養の内訳

	A (進路)	B (興味関心)	C (難易度)
専科 I	5 9. 9 %	6 2. 0 %	6 6. 3 %
専科 II	5 8. 9 %	6 1. 7 %	6 3. 9 %
専科 III	6 1. 5 %	6 0. 9 %	6 1. 6 %
専科平均	6 0. 1 %	6 1. 5 %	6 3. 9 %
基礎教養 I	5 7. 1 %	6 1. 7 %	6 4. 2 %
基礎教養 II	5 8. 2 %	5 8. 9 %	6 1. 3 %
基礎教養 III	6 8. 3 %	6 7. 6 %	6 8. 6 %
基礎教養 IV	6 5. 8 %	6 6. 9 %	6 6. 3 %
基礎教養平均	6 2. 4 %	6 3. 8 %	6 5. 1 %

●自分の進路について真剣に考え始めたのはいつ頃ですか？

1年生前半	1年生後半	2年生前半	2年生後半	3年生前半	3年生後半	まだ考えていない
1 4 %	1 1 %	1 6 %	2 2 %	2 8 %	6 %	3 %

「進路を決めた時期」にみられる「満足度」

	専科	基礎教養	2年次	3年次	全体
①1年生前半	6 9. 9 %	7 0. 8 %	6 8. 0 %	7 2. 2 %	7 0. 4 %
②1年生後半	8 0. 1 %	7 6. 2 %	7 5. 1 %	7 9. 9 %	7 7. 9 %
③2年生前半	5 5. 8 %	6 1. 6 %	5 7. 6 %	6 0. 3 %	5 9. 1 %
④2年生後半	6 2. 4 %	6 5. 2 %	6 2. 3 %	6 5. 3 %	6 4. 0 %
⑤3年生前半	5 7. 4 %	5 7. 5 %	5 7. 3 %	5 7. 6 %	5 7. 5 %
⑥3年生後半	5 3. 3 %	6 3. 4 %	5 6. 4 %	6 1. 1 %	5 9. 1 %
⑦進路未定	5 8. 0 %	5 6. 8 %	5 4. 2 %	5 9. 7 %	5 7. 3 %

＜考察＞

3年次になってから進路の事を考え出した生徒や3年次に進路を変更した生徒が「満足度」を下げていると考えられる。なお、1年次・2年次ともに後半に進路を決めた生徒の満足度が前半よりも高くなっている、これは選択科目的本調査の時期と重なっていることが大きく影響していると考えられる。やはりなるべく早い時期に進路について目標設定ができた者がより有効な授業選択が出来ていると考えられる。

●最終的な進路は自分が選択した「エリア」と合っていましたか？

ちょうど合っていた	それなりに合っていた	あまり合っていなかった	合っていなかった	わからない
28%	35%	11%	11%	15%

「進路とエリアの合致」にみられる「満足度」

	専科	基礎教養	2年次	3年次	全体
①ちょうど合っていた	74.8%	73.1%	71.0%	76.0%	73.8%
②それなりに合っていた	66.1%	67.5%	66.1%	67.4%	66.9%
③あまり合っていなかった	58.1%	58.4%	57.8%	58.6%	58.3%
④合っていなかった	43.5%	52.6%	46.1%	50.7%	48.7%
⑤わからない	42.9%	49.1%	45.0%	47.5%	46.4%